

特集  
1

# 安城市内景況調査結果 (2019年7月～9月)

<全産業において雇用人員に緩やかな改善が見られる>

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 103企業
2. 調査対象時期 2019年7～9月期  
(1)前年同期(2018年7～9月)と比べた今期の状況  
(2)今期と比べた来期(2019年10～12月)の先行き見通し
3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	22	20	24	22	15	103
構成比	21.4%	19.4%	23.3%	21.3%	14.6%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、-5.0ポイントとなった。業況判断の前回実績(-16.4)と比較すると11.4ポイントの上昇であった。中小企業の業況は、一部業種に雇用人員の不足が見られるものの、全産業とも基調としては緩やかに改善が見られる。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	3.8	△5.0	△18.7
売上高	2.9	△5.0	△17.8
売上単価	△4.9	△3.0	△16.8
資金繰り	△6.9	△6.0	△11.9
借入難度	△1.0	0	△4.9
収益状況	△2.9	△7.0	△20.7
雇用人員	△12.8	△3.0	△4.9

凡例▶

30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全産業											
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業		その他			
前年同期対比	業況判断	△5.0		△18.1		0		△4.2		0		0	
	売上高	△5.0		△18.2		△15.8		△12.6		0		33.4	
	売上単価	△3.0		△9.1		0		△8.3		△4.8		△13.3	
	資金繰り	△6.0		△4.5		15.8		△20.9		△23.8		13.3	
	借入難度	0		0		15.8		△4.2		△9.5		0	
	収益状況	△7.0		△18.2		△10.6		0.1		△14.3		13.3	
	雇用人員	△3.0		△22.7		5.3		0		4.7		0	
来期の見通し	業況判断	△18.7		△18.1		△5.2		△24.9		△28.6		△13.4	
	売上高	△17.8		△13.7		△15.8		△29.2		△23.8		0	
	売上単価	△16.8		△13.6		5.2		△20.8		△23.8		△33.3	
	資金繰り	△11.9		△9.1		△5.2		△16.7		△19.1		△6.6	
	借入難度	△4.9		△13.6		5.3		△4.2		△4.8		△6.6	
	収益状況	△20.7		△13.6		△31.5		△29.2		△19.1		△6.7	
	雇用人員	△4.9		△4.5		0		△8.3		△9.6		0	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。  
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。